

長野県食と農業農村振興審議会第2回長野地区部会 次第

日時：令和4年9月13日（火）14:00～

場所：長野合同庁舎5階501～503号会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 次期長野県食と農業農村振興計画（素案）について

(2) 次期長野県食と農業農村振興計画基本目標の候補について

(3) 次期長野県食と農業農村振興計画 長野地域の発展方向（案）について

(4) 意見交換

(5) 今後のスケジュールについて

4 閉 会

長野県食と農業農村振興審議会長野地区部会委員

(第7期任期：令和4年7月20日～令和6年7月19日)

区分	氏名	役職	備考
農業者の代表	こんとう としゆき 近藤 利之	長野県農業経営者協会 長野支部長	
	こまつ たつこ 小松 たつ子	長野県農村生活マイスター協会 更埴支部長	
	おぎわら つよし 荻原 健志	長野県農業士協会 上高井長野支部長	
農業関係団体の代表	こいけ ひろあき 小池 宏明	ながの農業協同組合 常務理事	
	あんどう たけし 安藤 猛	グリーン長野農業協同組合 代表理事常務	
	いちかわ ゆきひこ 市川 幸彦	豊野町土地改良区 理事長	
農業委員の代表	たかはし きよ 高橋 きよ	長野県農業委員会女性協議会 長野支部副支部長	
消費者の代表	よねくら みき樹 米倉 美樹	生活協同組合コープながの 北信地域区分理事	
農産物流通事業者の代表	わだ たかひさ 和田 孝久	株式会社R&Cながの青果 長野支社長	
農産加工事業者の代表	おおかわ けさみ 大川 けさみ	チアさみず 代表	
市町村の代表	つかだ かつお 塚田 勝雄	千曲市経済部農林課長	
	おぶち よしひこ 小渕 義彦	高山村産業振興課長	
	12名		

注) 任期途中で交代となった委員の任期は、前任者の残任期間となります。

長野県食と農業農村振興審議会における地区部会の設置規程

第1 設置の目的

「長野県食と農業農村振興の県民条例」に基づいて策定する「長野県食と農業農村振興計画」（以下「振興計画」）策定及び県が実施する食と農業・農村に関する施策に関し、各地域の県民の意見の反映と、地域の特性を生かした地域別の発展方向の策定及び検証を行うため「長野県食と農業農村振興審議会」に地区部会を設置する。

第2 地区部会の設置

「長野県食と農業農村振興の県民条例」に規定されているとおり、地域振興局の管轄区域ごとに、部会を設置する。

第3 地区部会の組織

- (1) 地区部会は、部会委員10人程度で組織する。
- (2) 地区部会の部会委員は、農業者、消費者、農業関係団体、農業委員、市町村職員などから、地域振興局長が任命する。
- (3) 部会委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4 会議の運営

- (1) 地区部会には部会長を置き、部会委員が互選する。
- (2) 部会長は、会務を総理し、部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員がその職務を代理する。
- (3) 会議は、部会長が招集し、会長が議長となる。
- (4) 部会長が認める場合は、部会委員以外の者がオブザーバーとして協議に参画することができる。
- (5) 会議は、部会委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- (6) 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- (7) 会議は、原則として公開とする。
- (8) 地区部会の事務局は、地域振興局農業農村支援センター農業農村振興課に置くこととし、事務局長は、地域振興局農業農村支援センター所長の職にある者が充たる。

第5 地区部会の任務

地区部会は、次に掲げる事項について検討し、部会長は、「長野県食と農業農村振興審議会」に報告するものとする。

- (1) 県が策定する振興計画及び県が実施する食と農業・農村に関する施策に関する地域の意見の集約
- (2) 県の振興計画に基づき、地域の特性を踏まえた「地域別の発展方向」の策定及び検証
- (3) その他、食と農業及び農村の振興に関し、地域で必要な事項

(補 足)

この規程に定めのあるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、事務局が会議に諮って定める。

(附 則)

この規程は、平成19年1月19日から施行する。

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

次期長野県食と農業農村振興計画(素案)の概要

第1章 計画策定の基本的な考え方

- | | |
|--|---|
| <p>1 策定の趣旨 「長野県食と農業農村振興の県民条例」の基本理念を踏まえ、食と農業・農村の持続的発展を目指し、方向性を指し示す。</p> <p>2 策定年月日 令和5年(2023年)2月予定</p> <p>3 計画期間 令和5年度(2023年度)～令和9年度(2027年度)(5年間)</p> <p>4 計画の進行管理 毎年度、進捗状況を、食と農業農村振興審議会及び地区部会から意見聴取の上、県議会に報告し公表</p> <p>5 計画の推進 県の取組に加え、市町村、農業団体等の「参画」と、県民等の「協働」を基本姿勢として、それぞれが責務と役割をもって一体となり計画を推進</p> | <p>6 食と農業・農村を取り巻く社会情勢の変化</p> <p>ア 人口減少と少子高齢化の更なる進行</p> <p>イ 脱炭素社会構築の必要性</p> <p>ウ 新技術、デジタル化の加速</p> <p>エ 地方回帰に対する意識の高まり</p> <p>オ 新型コロナウイルス感染症の影響</p> <p>カ 国際情勢の変化</p> |
|--|---|

【現状と課題】

- ・高齢化の進行による基幹的農業従事者の減少への対応
- ・リタイア農家(農地)の受け皿となる担い手の不足への対応
- ・需要に応じた主食用米の生産と、収益性の高い園芸作物等の導入への対応
- ・世界情勢の不安から輸入に依存する穀物(小麦等)の生産拡大や生産資材高騰への対応
- ・SDGsの観点から、有機農業を含む環境にやさしい農業の面的拡大と地産地消の拡大への対応
- ・デジタル技術等の活用による省力化・効率化等への対応

第2章 食と農業・農村の振興に関する施策

1 基本目標

2 めざす姿

3 施策体系

I 皆が憧れ、稼げる信州の農業

- 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保
 - 信州農業をけん引する中核的経営体の確保・育成
 - 新規就農者の安定的な確保
 - 地域農業の将来像の明確化による担い手確保と農地集積の推進
 - 多様な人材の呼び込みによる支え手の確保
- 「稼げる農業」の展開と信州農畜産物の持続的な生産
 - くだもの王国づくりの推進
 - マーケットニーズに応える信州農畜産物の生産
 - 農村のDX及びスマート農業の推進による生産性の向上
 - 有機農業などの持続可能な農業の面的拡大と安全安心な農畜産物の生産
 - 持続可能な農業を推進するための技術の開発・普及
 - 稼ぐ産地を支える基盤整備の推進
- 実需者ニーズに対応した県産農畜産物の販路開拓・拡大
 - 県オリジナル品種など県産食材の魅力・価値の発信
 - 稼ぐ力の強化につながる輸出の拡大
 - 多様な主体との連携や地域資源の活用による新たな価値の創出
 - 多様なニーズに対応した流通機能の強化

II しあわせで真に豊かな暮らしを実現する信州の農村

- 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり
 - 地域農業の将来像の明確化による適切な農地利用
 - 多様な人材の活躍による農村の振興
 - 地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持活動
 - 農村型の地域運営組織の組織化推進による農村コミュニティの維持
- 安心安全で持続可能な農業・農村の基盤づくり
 - 災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化
 - 持続可能な営農を支える農地・農業用施設の整備

III 魅力あふれる信州の食

- 食の地産地消を始めとするエシカル消費の推進
 - 持続可能な暮らしを支える地産地消・地産地産の推進
 - 有機農産物など環境にやさしい農産物等の消費拡大
- 次代を担う世代への食の継承
 - 伝統野菜など地域ならではの食文化の継承
 - 農業者と関係機関の連携による食育・農育の推進

4 農業生産構造等の目標

- 農業・農村の展望
- 経済努力目標
- 経済努力目標の内訳
- 施策の達成指標

5 重点的に取り組む事項

- 【プロジェクト1】
「大規模経営体等の信州農業を担う人材の確保と育成」
- 【プロジェクト2】
「日本一を目指す果樹四大品目(りんご、ぶどう、なし、もも)の産地力向上」
- 【プロジェクト3】
「デジタル技術等の活用による農業の生産性向上と豊かな農村生活の実現」
- 【プロジェクト4】
「有機農業の面的拡大や温暖化緩和技術の開発等による持続可能な農業と食の展開の推進」
- 【プロジェクト5】
「信州農畜産物の輸出拡大」

6 施策の展開方向

- 第1節 皆が憧れ、稼げる信州農業
- 第2節 しあわせで真に豊かな暮らしを実現する信州の農村
- 第3節 魅力あふれる信州の食

※下線の項目については、第3回審議会時から加筆・修正

第3章 地域別の発展方向

- 県内10地域ごとの特性を踏まえた将来の発展方向、将来目標、具体的な取組内容を記した地域計画

【佐久】

- ・求める担い手を明確にする地域計画(人・農地プラン)の策定推進
- ・水田農業における雑草イネの発生面積の削減と、スマート農業技術の導入推進による生産性の向上
- ・露地葉菜類における、計画生産・安定出荷及びグリーン栽培の推進

【上田】

- ・上田地域の“めざす姿”を明確化した就農相談や研修制度の充実による意欲ある新規就農者の確保や早期育成に向けた支援体制を強化
- ・各種施設の導入と新技術の普及による気象災害等に強い産地づくりを推進

【諏訪】

- ・野菜、花き等の担い手に加え、温暖化を見越し果樹など多様な経営体を育成
- ・緑肥や捕獲作物の活用等減化学肥料・農薬によるグリーン農業の取組を推進

【上伊那】

- ・地域の話し合いによる、地域農業の将来像の明確化を支援
- ・高収益作物や土地利用型作物新品種の導入と生産安定による水田農業経営体の体質強化

【南信州】

- ・労働力不足に対応するため、マッチング機会の創出や農福連携等による人材確保などへの取組を推進
- ・日本なしの新たな担い手確保や生産力強化による産地の再構築
- ・スマート農業の推進による省力化や生産性向上

【木曾】

- ・計画的な農地の利用・保全に向けた地域計画等の策定支援
- ・スマート農業技術等の導入による安定的な御嶽はくさいと子牛の生産を推進

【松本】

- ・新規就農者の確保、栽培技術・経営管理の習得等による育成と地域への定着を支援
- ・気象変動に対応した松本地域ブランド農畜産物の安定生産への支援
- ・規模拡大や農作物の高収益化を進めるための基盤整備及び農業水利施設の長寿命化とDXを推進

【北アルプス】

- ・需要に対応した米生産や水田への園芸品目の導入を推進
- ・北アルプス山麓の立地条件や特色を活かし生産された農畜産物や加工品の認定の推進と、産品の輸出に取り組む事業者への支援

【長野】

- ・県オリジナル品種等の戦略的導入と施設整備によるぶどう産地の発展
- ・省力化栽培技術や改植等によるりんご・もも産地力の向上
- ・地域の共同活動(農村RMO)による、農村コミュニティの維持

【北信】

- ・需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産拡大と収益性の高い米生産を推進
- ・果樹の戦略品種等の生産拡大と高位安定生産を推進

次期長野県食と農業農村振興計画 基本目標の候補

<基本目標の候補>

- ◇未来に続く、信州の豊かな農業・農村と食
- ◇未来に続く、魅力あふれる農業・農村と信州の食
- ◇未来につながる信州の豊かな農業・農村と食
- ◇人と地域が育む持続可能な信州の農業・農村と食
- ◇豊かさを創造する魅力あふれる信州の農業・農村と食

■ 基本目標設定の考え方

- ・ 次期計画は、第2期、第3期を策定した10年前、5年前に比べ、少子高齢化による人口減少や地球温暖化の更なる進行、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢などにより社会・経済情勢が大きく変化
- ・ 農業者の更なる減少や雇用人材の確保が困難となることが予測され、今後も農業を持続可能で成長性のある産業として発展させていくことが必要であるため、未来の担い手となる子どもたちが、憧れるような稼げる農業の実践が求められている
- ・ 農村は、都市部に比べて人口減少が顕著であり、農業生産活動のみならず、地域ぐるみで行われていた様々な農村コミュニティの活動への影響が出ており、自然豊かで美しい農村を維持してゆくためには、都市住民との交流や移住の更なる促進など、多様な人材の受入れが必要
- ・ 食は、消費者の価値観や流通の多様化、地産地消や食を通じた健康への関心の高まりなど、単なる食材の提供に留まらない普遍的価値が求められている

■ 目標設定に関するキーワード

- ・ 次期総合5か年計画のキーワード
「つながる」、「一人ひとりが大切にされる」、「希望するライフスタイルが実現」、「共につくる、支え合う」、「しあわせ」、「安心」、「人間力」、「誇り、郷土愛」、「脱炭素」、「循環」、「経済」
- ・ これまでの審議会、農業者との意見交換などから出されたキーワード
「持続的な農業」、「SDGs」、「エシカル消費」、「脱炭素」、「多様な人材」、「豊かな暮らし」、「支え合い助け合い社会」、「心の豊かさ」、「子どもたちへの教育」

■ これまでの基本目標

- 第1期計画 「食と農が織りなす 元気な信州農業」
- 第2期計画 「夢をかなえ人を結ぶ信州の農業・農村」
- 第3期計画 「次代へつなぐ、笑顔あふれる信州の食と農業・農村」

次期長野県食と農業農村振興計画の達成指標（案）

現計画

◇達成指標

- I 次代へつなぐ信州農業
1 次代を担う経営体の育成と人材の確保

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
1	中核的経営体数	8,998経営体	10,044経営体	10,000経営体
2	法人経営体数及びその常雇用者数	958経営体	1,042経営体 6,290人	1,080経営体 7,170人
3	中核的経営体への農地の集積率	39% (H27年度)	43%	54% (H27年度)
4	新規就農者数（45歳未満）	224人/年	181人/年	250人/年
5	集落営農組織数	327組織	383組織	350組織

- 2 消費者に愛され信頼される信州農畜産物の生産

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
6	効率的な水田経営を行う経営体数とその面積割合	615経営体 35.1%	737経営体 47.5%	800経営体 45%
7	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積（米・麦・大豆・そば）	2,000ha	3,003ha	3,370ha
8	果樹戦略品種等の栽培面積	1,884ha	2,768ha	2,826ha
9	りんご高密度植栽培・新しい化栽培面積	257ha	590ha	735ha
10	夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	36.1%	52.0%	40.8%
11	信州プレミアム牛肉の認定頭数	3,477頭/年	3,937頭/年	3,800頭/年
12	信州ブランド魚の生産量（信州サーモン、信州大王イワナ）	345t	357t	485t
13	国際水準GAP認証の取得件数	14件	52件	42件
14	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	—	37か所	44か所

次期計画

◇達成指標

- I 皆が憧れ、稼げる信州の農業
1 皆が憧れる経営体の育成と人材の確保

番号	項目
→ 1	中核的経営体数
→ 2	中核的経営体への農地の集積率
→ 3	新規就農者数（49歳以下）
New 4	空き家付き農地の取得件数
New 5	長野県農村生活マイスターの認定者数

- 2 「稼げる農業」の展開と信州農畜産物の持続的な生産

番号	項目
→ 6	りんご高密度植栽培導入面積
→ 7	信州ブランド魚の生産量
New 8	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数
New 9	一等米比率の順位
New 10	全国シェアトップを維持する農産物の数
New 11	施設果菜類等の増収技術導入面積

--	--	--	--	--

New	12	乳用牛の1戸あたり平均飼養頭数
New	13	豚熱ワクチン免疫付与による抗体陽性率
New	14	果実産出額
New	15	土地利用型作物を生産する経営体におけるスマート農業技術導入率
New	-	自動化・遠隔化された農業用水利施設の水門数（再掲）
New	16	持続可能な農業に取り組む面積（化学合成農薬・肥料を削減した栽培、有機農業）
New	17	オーガニック・ビレッジ宣言をした市町村数

3 需要を創出するマーケティング

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
15	「おいしい信州ふード」運動協賛企業・団体数	31団体	33団体	100団体
16	「おいしい信州ふード」SHOP登録数	1,298店舗	1,561店舗	1,600店舗
17	県が主催する商談会における農業者等の成約件数	208件/年	108件/年	350件/年
18	県産農産物等の輸出額	5.6億円	17.7億円	20億円

3 実需者ニーズに対応した県産農畜産物の販路開拓・拡大

番号	項目
→	18 県が主催する商談会による農業者等の成約率
→	19 県産農畜産物の輸出額
New	20 6次産業化等の重点支援事業者の付加価値額の向上率

II 消費者とつながる信州の食

1 本物を味わう食と食し方の提供

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
19	売上高1億円以上の農産物直売所数及び売上総数	52施設 151億円	63施設 176億円	60施設 200億円

II しあわせで真に豊かな暮らしを実現する信州の農村

1 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

番号	項目
No.28へ	
↗	21 荒廃農地解消面積
↗	22 都市農村交流人口
↗	23 地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積
New	24 農村型の地域運営組織数

2 しあわせな暮らしを支える豊かな食の提案

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
20	学校給食における県産食材の利用割合	45.7%	47.0%	48%

2 安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

番号	項目
25	防災重点農業用ため池の防災等対策工事の完了箇所数
26	自動化・遠隔化された農業用水利施設の水門数
27	農業用水を活用した小水力発電の設備容量

Ⅲ 人と人がつながる信州の農村

1 持続的な農業生産活動を支える基盤づくり

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
21	荒廃農地解消面積	991ha/年	1,329ha/年	1,000ha/年
22	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	40,827ha	45,783ha	49,800ha

Ⅲ 魅力あふれる信州の食

1 食の地産地消を始めとするエシカル消費の推進

番号	項目
28	売上額1億円を超える農産物直売所の数、売上高
29	学校給食における県産食材の利用割合(金額ベース)
30	有機給食実施(献立のある)の学校の割合

2 多様な人材の活躍による農村コミュニティの維持

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
23	都市農村交流人口	624,909人/年	198,849人/年	690,000人/年
24	地域おこし協力隊員の定着率	69.2%	78.3%	75.0%

2 次代を担う世代への食の継承

番号	項目
-	有機給食実施(献立のある)の学校の割合(再掲)

3 地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用

番号	項目	H28 (基準年)	R3 (実績)	R4 (目標)
25	農業用水を活用した小水力発電の設備容量	2,184kw	4,103kw	4,000kw
26	新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数	-	20か所	25か所

No.29へ

New

New

New

No.21へ

No.23へ

↘

↘

New

No.22へ

New

No.27へ

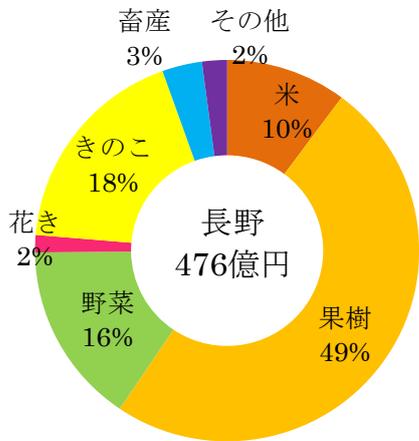
9 長野地域の発展方向

長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町
高山村・信濃町・飯綱町・小川村

基本目標「〇〇〇」

農業・農村の特徴

長野地域の農業は千曲川沿いに開けた平坦な善光寺平地域と周辺の山間部地域の二つの地域に区分されます。耕地は標高 330m から 1,100m に位置し、気象・立地条件を巧みに活かした適地適作による産地化が図られ、全域にわたって多様な農業が展開されています。特に果樹は多品目が栽培されており、りんご、ぶどう、ももは栽培面積、生産量とも県内第 1 位の主力産地となっています。



農産物産出額(2020年度)

現計画と同様の総農家戸数、耕地面積、農産物産出額棒グラフ(2020年)

めざす姿

.....

施策の展開方向

I 皆が憧れ、稼げる長野の農業

重点取組 1 長野地域の農業を支える多様な担い手の確保・育成

リード

【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
中核的経営体数		
果樹の新規就農者数		

【具体的な施策展開】

- 長野地域の農業をけん引する経営体の育成
- 新規就農者の安定的な確保と技術力・経営力の向上
- 雇用労働者に対する労働環境整備の推進
- 多様な人材による経営体の雇用労働力の確保
- 担い手への農地集積を推進するための用排水路の改修や耕作道路の拡幅を推進

重点取組 2 全国トップクラスの果樹産地づくり

リード

【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
<u>畑地かんがい施設等の整備により用水が安定確保され た農地の面積（期間内）</u>		
りんご高密度植栽培導入面積		
果樹戦略的品種等の栽培面積		
果実産出額		

【施策の展開方向】

- 果樹栽培を支える用水の安定確保と畑地かんがい施設の更新整備を推進
- 省力化栽培技術や改植等によるりんご・もも産地力の向上
- 県オリジナル品種等の戦略的導入と施設整備によるぶどう産地の発展
- 脱炭素化技術による地球温暖化防止策や気象災害に対応した技術の普及
- 担い手への優良農地の集積や樹園地継承の推進

重点取組3 産業としての農業を支える農作物の安定生産と品質向上

リード

【達成指標】

項目	2021年度 (現状)	2027年度 (目標)
軽量野菜(アスパラガス、ピーマン等)の栽培面積		
持続可能な農業に取り組む面積		
スマート農業技術の実証箇所数		

【具体的な施策展開】

- 水稲や野菜栽培に不可欠な農業用水を安定供給する農業水利施設の計画的な整備を推進
- 高収益作物の導入による水稲経営体の経営力強化
- ピーマン等軽量野菜の生産拡大と品質向上
- トルコギキョウ等需要に対応した花きの生産安定
- きのこの病害虫対策と経営安定
- 持続可能な畜産経営の推進による経営基盤の維持、強化
- 環境への負荷を軽減した持続可能な農業の推進
- 品目や地域の条件に適したスマート農業技術の推進

Ⅱ しあわせで真に豊かな暮らしを実現する長野の農村(仮)

重点取組4 多様な人材で支え、皆で取り組む農村づくり

リード

【達成指標】

項目	2021年度 (現状)	2027年度 (目標)
農村型の地域運営組織数		
都市農村交流人口		
野生鳥獣による農作物被害額		
地域の協働活動に取り組む多面的機能支払事業の活動面積		

【具体的な施策展開】

- 地域住民と農村移住者の協働や関係人口との連携による農村機能の維持と地域資源の保全
- 農村型地域運営組織(農村RMO)の構築推進による農村コミュニティの維持
- 野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみによる取組支援

重点取組 5 災害に強く安心して暮らせる農村づくり

リード

.....

【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
排水機場の更新やため池の耐震化等により安全が確保された地域の面積（期間内）	—	500ha
ICT を活用して自動化・遠隔化した水門の箇所数（期間内）	—	10 か所

【具体的な施策展開】

- 千曲川沿い排水機場施設の更新・増強の推進
- 防災重点農業用ため池の地震・豪雨耐性評価の実施及び対応した防災工事の推進
- 地すべり防止施設の長寿命化計画に基づく対策工事の実施
- ICT を活用した水門の自動化・遠隔化による施設管理の省力化と作業時の安全確保
- 農業用水を活用した小水力発電による、施設管理費の軽減とエネルギーの地産地消の推進

Ⅲ 魅力あふれる長野の食(仮)

重点取組 6 長野地域の豊かな食の発信と継承

リード

.....

【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
売上額 1 億円以上の直売所数・売上高		
食農体験の取組数		

【具体的な施策展開】

- 農産物直売所の販売力強化及び農産物加工組織の活性化
- 伝統野菜、そば、郷土食など長野地域で守り育てた食の継承
- 「農」と「食」をつなぐ関係機関と連携した食育活動の推進
- 消費者の関心の高い食と安全と環境に配慮した食づくりの推進

次期長野県総合5か年計画と次期長野県食と農業農村振興計画の策定スケジュール（案）

区分	長野県総合5か年計画	次期長野県食と農業農村振興計画			
		審議会	プレスリリース パブリックコメント 県議会説明		
令和3年度	8月		8/24 第1回審議会 ・次期計画に対する意見・提言 ・次期計画の策定スケジュール		
	11月	11/24 第1回審議会 ・諮問			
	2月	2/14 第2回審議会 ・現状と課題、将来像、取組の方向性等	2/7 第2回審議会（書面開催） ・諮問、次期計画の方向性		
	3月				
令和4年度	4月	4/25 第3回審議会 ・次期計画の策定検討			
	5月			審議会開催予定リリース	
	6月	上旬	6/9 第3回審議会 ・構成、骨子、施策の展開方向 6/9 現地調査 ・長野地域		
		中旬			
		下旬			
	7月	上旬			
		中旬		7/13 現地調査 ・佐久地域、上田地域	
		下旬		7/28 現地調査 ・諏訪地域、南信州地域	
	8月	上旬			
		中旬			審議会開催予定リリース
		下旬	8/29 第4回審議会 ・政策評価 ・政策方向性	8/24 第4回審議会 ・R3実績レポート ・次期計画の素案提案	
	9月				
	10月	第5回審議会 ・次期計画構成素案	答申案は、委員への個別訪問 又はwebによる説明を予定 (10月下旬を予定)		
	11月	上旬	第6回審議会 ・答申案		審議会開催予定リリース
		中旬	・答申	11/18 第5回審議会 ・答申	
		下旬	計画案概要11月県会報告		各党派・関係県議説明
12月	計画原案公表			11月議会農政委員会 計画案説明	
1月				12月～1月 パブリックコメント募集	
2月	計画議案2月県会提出		計画の公表	2月定例会	